

News Release

報道関係者各位

2026年3月3日
株式会社アールデバイス

アールデバイス、ジーネクストの資本参加を受け、急成長フェーズへ ～2026年11月期は、売上高前年比400%超成長、 営業利益は大幅黒字転換を見込む～

株式会社アールデバイス（本社：埼玉県加須市、代表取締役：久保 英之、以下「当社」）は、このたび株式会社ジーネクスト（本社：東京都千代田区、代表取締役：村田 実、証券コード：4179、以下「ジーネクスト」）の資本参加を受け、事業拡大と収益構造改革を加速させることをお知らせいたします。

当社は、現在進行期である2026年11月期において、売上高、営業利益ともに前年比400%超の成長（大幅黒字化）を見込んでおり、収益力を飛躍的に向上させる戦略を推進しております。

単なる規模拡大ではなく、利益構造の変革による利益成長型モデルへの転換を実行し、企業価値の最大化を図ります。



×



■ 今後の事業展開について

（1）ITAD 事業：安定成長から“高収益基盤”へ

当社のITAD（IT Asset Disposition）事業は、企業のDX推進・設備更新需要を背景に好調を維持している中で、取扱高は着実に拡大しており、当社全体で売上高400%超の成長を見込んでおります。

今後は、

- ・法人直接取引比率の引き上げ
- ・OEM、海外ソーシングの強化
- ・再生工程の高度化
- ・パーツ単位での収益最大化

等を推進することで、規模拡大と同時に収益性が拡大していく予定です。

ITAD事業を安定的なキャッシュ創出事業（Cash Source）として拡張し、成長投資の原資を強固に確保いたします。

（2）EC 事業：利益成長を牽引する“キャッシュエンジン”

当社はEC事業を今期より「一般ECサイト」から「利益の中核となるユーザー体験を重視するECプラットフォーム」へ再定義いたしました。

売上の増加以上に利益が伸びる構造へ転換し、営業利益 400%超成長の実現（大幅黒字化）を牽引する事業としての成長を見込んでおります。

また、2027年11月期以降の更なる成長を見越して、

- ・高付加価値再生商品の強化
- ・法人向け EC の拡大
- ・定期購入モデル導入
- ・AI による価格最適化（ダイナミックプライシング）

等を推進、検討しております。

これにより、粗利率の大幅改善と営業利益のレバレッジ拡大を実現します。

■ より飛躍するための成長戦略

（1）AI データセンター事業への本格参入

生成 AI 市場の拡大に伴い、GPU・高性能サーバーの需要は急増しています。

当社はこれまでのデータセンター関連知見を活かし、ジーネクストと連携して AI データセンター事業に参入を予定しております。

- ・GPU リユース市場への対応
- ・法人ネットワークを活用した高単価案件の獲得
- ・AI インフラ再流通市場の開拓

これにより、新たな高収益セグメントを創出し、事業ポートフォリオを一段と高度化させます。

（2）マーケットポジションを引き上げる積極的な成長戦略

当社はオーガニック成長に加え、

- ・同業との協業、提携および M&A
- ・関東地方以外の地域基盤の獲得、全国規模への展開
- ・技術・データ企業との提携

を積極的に検討しております。

積極的な成長戦略により、非連続的な収益拡大を図り、マーケットポジションを引き上げてまいります。

ジーネクストとの資本業務提携を成長の転換点とし、アールデバイスは“収益力で評価される企業”へ。2026年11月期は、当社にとって飛躍の年となります。

株式会社ジーネクストについて

株式会社ジーネクストは創業以来、アナログおよび煩雑な顧客対応の DX 化を促進するサービスを提供しており、企業の顧客体験の一貫性をご支援しております。現場と経営が同時にイノベーションを起こすプラットフォームを構築・提供するリーディングカンパニーを目指したいと考えております。

本社所在地 : 東京都千代田区平河町 2-8-9 HB 平河町ビル 3F

代表者 : 代表取締役 村田 実

設立 : 2001年7月

ウェブサイト : <https://www.gnext.co.jp/>

サービスサイト : <https://discoveriez.jp/>

株式会社アールデバイスについて

株式会社アールデバイスは、ITAD（IT資産適正処理）事業および法人向けEC事業を中核とするリユーステック企業です。IT機器の調達・再生・販売・フルフィルメントまでを一気通貫で展開し、高付加価値リユースモデルを構築しています。

近年はデータ活用による価格最適化や在庫回転率向上を推進し、ITADをキャッシュ創出基盤、ECを利益創出エンジンとする収益構造へ進化。さらにAIデータセンター分野への参入を進め、GPU等の高度IT機器リユース市場にも対応しています。

「世界のパーツセンター」をビジョンに掲げ、持続可能な循環型社会の実現と企業価値の最大化を目指しています。

コーポレートサイト：<https://www.r-device.co.jp/>

ECサイト：<https://r-device.jp/>

◇サービスおよび報道関係者お問い合わせ先
株式会社アールデバイス 広報担当
E-mail：rd-kouhou@r-device.co.jp